



子どもたちが自慢できる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校

学校だより 校長 酒井元治

令和4年度 第5号 7月22日発行

不便さが宝物？～夏休みに向けて～

ご存じのように長崎県の教職員は広域人事と言って離島勤務を命ぜられることがある。私も教頭で4年、校長で3年小値賀にお世話になった。この4年と3年には5年間のインターバル（佐世保勤務）があり、校長として再度小値賀に赴任した時には島民の皆さんから「おかえり！」と言われ歓迎された。

小値賀は長崎県で一番小さな自治体、平成の大合併時に単独で頑張りぬくことを決意した島だ。本島（もとしま）と呼ばれる小値賀島を中心に小さな17の属島がある。これらの属島はそのほとんどが無人島だが、有人島の一つに大島という島がある。小値賀本島から渡海船で10分ほどの距離、「大島」とい



うくらいだからこの17の属島の中では大きな島で、ここには小値賀小学校大島分校がある。私は教頭として2年間この分校にお世話になった。当時、全校児童数5名、職員数3名の極小規模校だ。複式学級2クラスで子どもたちは学年に関係なく、個々に自分の役割をいくつもあてがわれている。授業参観となると子どもたちの関係者ではなくても島民の皆さんが20名ほど来校される。PTA会長は保護者ではなく自治会長が兼任する。この大島には商店もなく、病院などの公共施設もない。鍵を開けっぱなしの職員住宅の玄関には、時折お皿に載った料理が置かれていた。皿の裏には記名がしてあるので誰が置いてくださったかがわかる。そんなゆっくりと時間が流れる、昭和のにおいがたっぷりする温かな島で島民の皆さんにもかわいがっていただいた。

保護者ではないが、私よりちょっと先輩で農業を営む山田さんという方がいらっしゃった。この山田さんがあるときに「酒井ちゃん、（親しみを込めて『ちゃん』付けで呼んでもらっていた）この島の宝って何やと思う？」と尋ねられる。唐突な質問に「自然？島の人たちの人柄？」と考えていると、「おいは、この島の宝は不便さと思うとさね。」とおっしゃる。

「ここは本島（もとしま）から渡海船で10分、台風が来ても、風が強くても欠航になる。店もない。不便な島やと思うよ。でも、不便かけんがこそ島民は助け合わんば生きていけん。年寄ばっかりになった島の田植えっていったら、若いもん（といっても平均年齢50歳くらいの5・6名）が、日替わりで回って機械で植えてやる。そうやって島民の『協力』で生活が成り立つとる。もし、本島との間に橋がかかっていたら、島民は便利な本島の方に流れてこの島は廃れていくだけやったろうね。この島にはこんな不便さがあるけんが、島民の幸福があつとよ。」という話だ。



小さな島のビニールハウスの哲学者だ。限りなく便利さを追求する現代社会の中で、目から鱗の話だった。なるほど、私たちは、無駄をそぎ落とし便利さを追い求める。その裏で失くしているものも少なくないはずだ。

明日から夏休みに入る。全校児童にタブレットを持ち帰らせる。一人一台端末を十分に使ってもらって少しでも学習に役立ててほしい。私たちはこのような便利さから逃れられないし、このような文明の機器の活用なくしては、これからの社会を生きていくことは難しいと考える。我々が

手にしているスマートフォンだって、今の生活の必需品とも言えるようになってきた。一度架けられた橋を取り外すことはできない。その上で必要なのはバランス感覚であろうと思う。

こちらは20年ほど前の話になるが、私が4年生の担任をしていた9月、ある男の子の夏休みの日記を見ているとこんな記述があった。

「○月○日 お父さんと夜にカブトムシを捕りに行きました。お父さんは『この木にはいるかも。』と何度も言ったけど捕まりませんでした。夜の山の中は真っ暗でした。」

この子の日記は同じような内容が4日ほど続いた。収穫は0。でも、この子の4年生の夏休みには、お父さんと彷徨った真っ暗な山道で枯葉を踏みしめる足音や鳥の鳴き声、葉擦れの音、そして父親の温かさが思い出として残っているのだろうと思った。結果から見れば無駄な時間であったかもしれないが、父との絆を感じるかけがえない時間であったと思う。

この夏、便利さと無駄や不便さをどう使い分けるか？保護者の皆様にはタブレットを使う便利さの中に、機械に全てを任せるのではなく、操作しているお子さんに声をかけていただくアナログ的な対応もお願いしたい。子どもたちには便利さの中で深めるもの、無駄や不便さの中で感じとるもの、いろいろな体験をしてほしいと思う。

8月行事予定

日	曜	行事等
9	火	登校日（通常登校 11：30 下校）
29	月	2学期始業式（給食なし 12：10 下校）

夏休み明けの子どもたちがスムーズに学校生活になじめるように、朝の活動や掃除をカットし、若干下校時刻を早めています。

2学期始め下校時刻

月	日	曜	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
8	29	月	2 学期始業式 全学年 12：10 給食なし					
	30	火	14：45	15：30				
	31	水	14：45				15：30（委員会）	
9	1	木	14：45		15：30			
	2	金	14：45		15：30			

夏休み作品と大物持ち込みウィーク(8/22～8/26)

別紙でもお伝えしておりますが、今年度は「新たな3学期制」が実施されたことから、夏休み中に2回行っていた登校日を長崎原爆の日（8/9）のみとしております。このこともあって、2学期始業日の8/29は子どもたちが大きな荷物とともに夏休みの作品を両手で持って登校する姿が目に見えます。

そこで、子どもたちの安全の確保のためにも、8/22～8/26をお子さんの作品や荷物を持ち込んでいただける期間とします。学校側としては夏休み明けに提出される多くの作品やコンクールの出品物を少しでも早めに扱いたいという意図もあります。よかったらこの期間に学校へお持ち込みください。車の乗り入れも可能です。時間帯は8：30～16：30、事務室か職員室にお声がけいただき、お子様の教室の机上までお持ち込みください。



この「大塔っ子」では学年の取組などあまり掲載できていませんが、ホームページではできるだけ毎日の子どもの様子を掲載しています。ご覧ください。

「今日の大塔小」です。画像などで気になる点がございましたら、学校までご連絡をお願いいたします。

